

## 第2期子ども・子育て支援事業計画（案）に関するパブリックコメントの実施結果について

町では、第2期子ども・子育て支援事業計画（案）に関するパブリックコメントを実施しました。貴重なご意見等をいただきましてありがとうございました。提出されたご意見並びに意見を考慮した結果及びその理由を次のとおり公表いたします。

### 1 実施概要

- (1) 実施期間 令和2年1月1日（水）～令和2年1月31日（金）
- (2) 周知方法 ア 広報おがの令和2年1月号  
イ 町ホームページへの掲載  
ウ 各庁舎等での閲覧（4箇所）  
小鹿野庁舎町政情報コーナー、両神庁舎おもてなし課窓口  
町立図書館（両神ふるさと総合会館） 保健福祉センター窓口
- (3) 提出者数 2名
- (4) 意見の数 13件

### 2 意見の内容並びに意見を考慮した結果及びその理由

No	ご意見の概要	ご意見に対する考え方・対応等
1	図書館ブックポストの設置について	ブックポストは、本館がある両神ふるさと総合会館玄関にすでに設置し、利用されています。 分室のブックポスト設置については、利用者の動きを見ながら検討します。
2	図書館親子イベントについて	現在の事業を見直しながら、新規事業等も検討していきます。
3	バス停への小型中古図書館設置について バス停などに小型中古図書棚があることで、簡易的にでも「居場所」が生まれます。	小型中古図書棚等、図書館としてだけではなく、全体的な居場所づくりについて考えていきます。

No	ご意見の概要	ご意見に対する考え方・対応等
4	<p>公共施設への授乳室設置について</p> <p>家族で入れて、湯利用可能なシンクがある、椅子がある、ベビーベッドがあることが理想です。</p>	<p>現在、授乳室は役場小鹿野庁舎、両神庁舎、中央公民館、両神公民館など主要な公共施設に設置しています。授乳室に給湯施設は付設していませんが、お湯については各施設の給湯施設をお使いいただけます。</p>
5	<p>子ども食堂（朝食）の運営について</p> <p>子ども食堂（朝食）の運営をすることで、母の朝の労力を軽減し、子どもたちも満足したお腹で学びを深めることができます。</p>	<p>現在、子ども食堂を実施している団体等は町内にありませんが、計画では46ページに「子どもの貧困対策として、町民や団体等による『子ども食堂』等の活動に対して必要な情報を提供するとともに、広報周知等の支援を行います。」と記載しています。</p>
6	<p>イベントへの託児サービスについて</p> <p>イベント全てに託児をつけることで、例えば「実家に子どもを預けなくちゃ」「保育所には預かってもらう理由にならない」など気兼ねせずにママ達の好奇心を満たすことができます。</p>	<p>現在、乳幼児のいる世代の方を対象にした会議等では託児サービスを行っています。</p> <p>また、一般の方を広く対象にした講演会等において小さなお子様の同伴についての問合わせがあった際には、講師に了解のもと「ぐずったりしたら途中で一度退席しても構わないので気にせず参加してください」と案内をしています。</p> <p>今後とも乳幼児のいる世代の方が安心して参加できるよう環境整備に努めて参ります。</p>
7	<p>子どもも使えるトイレの設置について</p> <p>子どもも使えて安心して明るいトイレの設置をすることで「躰」の第一歩と言われるトイレトレーニングもできます。</p> <p>また「子どもトイレ」があることで、子どもが自発的に使え、複数のお子をお持ちのママも、一度に子どもたち全員の対応をすることができます。</p>	<p>新庁舎建設に合わせ、検討させていただきます。</p>
8	<p>商店街の店舗内に子どもの遊べるスペースの設置について</p> <p>DVDやお菓子に頼るのではなく、おままごとセット、本、おもちゃ工具セットなどで遊べて、靴を脱いで上がれるマットがあることが理想です。</p> <p>子どもが「また行きたい」という仕掛けが商店街を常に明るくします。</p>	<p>現状の商店の状況から、店舗への実施は困難であると考えられますが、様々な観点から、子育て世代にとって魅力ある商店街づくりについて努力していきます。</p>

No	ご意見の概要	ご意見に対する考え方・対応等
9	<p>歩道、歩道橋、信号の設置について</p> <p>歩道、歩道橋、信号の設置をすることで、ベビーカーを押しての散歩がより安全になります。</p> <p>登下校の子どもたちにも大人の目が行き届くようになり、痴漢出没にも歯止めがかかると考えられます。</p>	<p>歩道、歩道橋及び信号機については、住民の要望を踏まえ、計画的に整備改善を進めています。</p> <p>なお、通学路は1年毎に変更が生じるため、年単位で学校と調整しながら、通学路整備計画に基づき、計画的な安全施設の整備改善対策を実施しています。</p>
10	<p>防災意識の向上及び避難所へのトイレの設置について</p> <p>被災時のためのローリングストック（各家庭）、ファミリーテント導入（避難所）、また防災訓練時にはその使い方をレクチャーをすることで、町民各自が身の守り方を前もって知ることができ、初期行動に自信が持てます。</p> <p>避難者の人数に応じたトイレの設置、ファミリーテントの活用方法、避難所運営のノウハウを町民が主体的に行うことで、復興も早くなります。</p>	<p>町では、毎年6月に防災訓練を実施しており、そこで、ローリングストックについての啓発を行っております。トイレの設置についても、今後防災訓練などを通じ、住民を交えた訓練を実施できるよう検討していきます。</p> <p>また、ファミリーテントの導入についても今後検討していくとともに、今回のご意見を参考にして、災害時の対応を町民が主体的に行っていただけるよう取組の周知、啓発を行い、防災意識の向上を図ります。</p>
11	<p>ジェンダー教育（被災時の性被害防止に向けた講演会）について</p> <p>災害時、命からがら避難した先にも危険があることは周知の事実です。性的マイノリティである幼児や女子が性被害対象になるなど、あってはならないことです。</p> <p>被害者にも加害者にもなりたくはない、ですよね。被災時の性被害など防止のため、性教育講演会等希望します。</p>	<p>町の地域防災計画では詳しく定めておりませんが、避難所運営に当たる際、避難者に対するプライバシーの配慮などを行うこととしております。ご指摘のとおり、避難所での性被害を防ぐための教育、啓発活動は非常に重要であるため、教育委員会と連携して、教育、啓発活動の実施を検討させていただきます。</p> <p>また、今後女性生理用品などの備蓄も行います。</p> <p>性教育をテーマにした講演会については、現在のところ考えておりませんが、今後とも幅広いテーマについて検討してまいります。</p>
12	<p>貧困家庭への女性生理用品の配布について</p> <p>女性生理用品を配布することで、隠れた貧困を撲滅することができます。特に子どもの貧困は急務です。</p>	<p>本計画では、46ページに「子どもや貧困世帯への支援」として、地域での孤立を防ぐ包括的な支援や生活の支援、経済的支援の観点から事業を位置づけています。</p> <p>経済的理由から生理の手当が十分にできない女性への対応については、現在のところ考えておりません。今後、国や県、近隣自治体等の状況をみながら判断していきたいと考えています。</p>

No	ご意見の概要	ご意見に対する考え方・対応等
13	<p>P47. 「相談体制の充実」について</p> <p>「発達障害などの傾向がみられる子どもたち」のところを「発達障がい者（小児の高次脳機能障害を含む。）などの傾向がみられる子どもたち」に変更してください。</p>	<p>ご指摘の通り、p 47 「相談体制の充実」について下記のように修正します。</p> <p>「発達障がい（小児の高次脳機能障がいを含む）などの傾向がみられる子どもたち」</p>